

荻窪中学校

ともに学び、主体性を掲げる 開かれた学校図書館

今の学校図書館

本校の図書館は、生徒が自ら学ぶ意欲を培う情報活用能力の育成に努めるとともに、図書に親しみ、読書の喜びや豊かな心を育むことを目標としている。

休み時間には多くの生徒が来館し、各々の活用目的に合わせ、環境整備の整った図書館で充実した時館を過ごしている。小中連携や近隣の公共図書館（西荻図書館・今川図書館）との連携も恒例となっており、地域との交流が活発に行われている。

学校図書館の運営

- ・「学校図書館運営計画」「学校図書館教育全体計画」に基づき、読書センター・学習センター・情報センターとして活用できるよう蔵書の充実を図っている。
- ・学校図書館長（校長）のもと、図書担当教諭、学校司書、図書委員会が中心となって運営している。
- ・外部ボランティアや学校支援本部とも連携し、魅力的な展示装飾や蔵書点検を行っている。

1年間の主な活動

- ・新入生対象学校図書館オリエンテーション
- ・授業支援
- ・朝読書用の学級文庫用図書の選定と管理
- ・図書館だより発行
- ・テーマ展示（毎月1～2テーマ）
- ・蔵書点検（司書、ボランティア）
- ・図書専門委員会活動
（スタンプラリー・カードゲーム・おみくじ等）
- ・職場体験受け入れ（3日間）
- ・ポプラ社 POP コンテスト出品
- ・区立西荻図書館にて、展示「中学生のオススメ本」で展示するポップの提供
- ・井荻小、桃三小との連絡会
- ・月1,2回、地域のボランティアによる図書館整備

特色ある取組

- ・全校朝読書の取組
毎朝10分間を朝読書の時間とし、朝読書用の学級文庫や各自持参の本の読書に取り組んでいる。
- ・展示「中学生のオススメ本」
区立西荻図書館にて、生徒の作成した本の紹介文ポップを提供。
- ・「ポプラ社全国学校図書館 POP コンテスト」
毎年、生徒のすぐれた作品を出品している。
- ・大型紙芝居「坂の上のケヤキさん」を図書委員会が在校生に読み聞かせる。この紙芝居は本校生徒とボランティアにより制作された。



POP コンテスト
出品作品の館外
掲示の様子

卒業生により制作された大型紙芝居「坂の上のケヤキさん」



これからの学校図書館

- ・図書委員会を中心とした交流を通して、学校図書館行事や読書活動のさらなる推進を図る。
- ・読書活動のみではなく、生徒の交流の場、心安らぐサードプレイスとしての場の提供ができるよう環境を整える。
- ・「読書バリアフリー」の観点から、誰もが利用しやすい図書館づくりを心がけ、インクルーシブな社会に対応できるよう資料収集と環境整備を行う。